

## 第 2 回地域検討会（熊本県）での指摘事項に対する対応（案）

(1) 前回議事概要及び指摘事項について〔資料 1、資料 2〕

特になし

(2) 概況調査結果概要に関する説明について〔資料 3〕

特になし

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要に関する説明について〔資料 4〕

1	<p>【指摘】 測定方法のわりに、資料に示された桁数が多い。</p> <p>【対応】 報告書等では、有効数字を考慮の上記載する。</p>
2	<p>【指摘】 調査した結果が本当に有意な答えになるよう調査すべきである。 海岸線の特徴やゴミの特性などについても書いていただきたい。</p> <p>【対応】 環境省ともまとめ方を相談していく。 クリーンアップ調査で得た情報を元に、フォローアップ調査の中で水平方向の展開や海岸線の形状等の関係などを解析していく。</p>
3	<p>【指摘】 流木関係が一番多かったが、これの原因まで踏み込んだ調査になるのか。原因がわかれば削減につながる。</p> <p>【対応】 4 の対応に含める。</p>
4	<p>【指摘】 材木関係の専門家などに聞き、可能性の調査だけはしていただきたい。</p> <p>【対応】 流木の発生源、種判別等については、調査を通じて検討を続けていきたい。</p>
5	<p>【指摘】 今後この会を生かしていくために、検討会の意見を取りまとめて参考とし、何らかの対策をとるとの事務局の話であるが、その確認を環境省にしていきたい。</p> <p>【対応】 今後、本モデル調査の結果は、環境省から関係省庁や地方公共団体へも情報提供し、今後の漂流・漂着ゴミ対策にも活かしていきたい。そのためにも色々なご意見をいただきたい。</p>

(4) その他の調査の進捗状況に関する説明〔資料 5〕について

6	<p>【指摘】 民有地境界に溜まったゴミが、定点観測データの妨げになる恐れがある。第 2 回クリーンアップ調査において除去することを検討されたい。</p> <p>【対応】 民有地は原則として調査対象外とするが、敷地境界については調査範囲への影響の有無を考慮し、可能な範囲でゴミの除去を行う方針とする。</p>
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(5) 今後の調査スケジュール案について〔資料 6〕

特になし

(6) 全体を通じたの質疑応答

7	<p>【指摘】 欠席の国土交通省九州地方整備局の委員に、面談して本日の議事内容を説明すること。</p> <p>【対応】 下野検討委員に 1 月 15 日に説明を実施。</p>
---	-----------------------------------------------------------------------------------------